

油山だより

—片江中学校 学校通信 No.2—

平成23年5月2日

福岡市立片江中学校
校長 竹下 章

「福岡スタンダード」「片江スタンダード」

福岡市は、平成21年に「新しい福岡の教育計画」において、めざす子ども像を「基本的生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども」としています。その実現のために、「公教育の福岡モデル」が示されています。

- 1 福岡スタンダード「あいさつ・掃除、自学、立志」
- 2 ことばを大切にせる教育
- 3 子どもの力を引き出し発揮させる教育
- 4 小中連携教育
- 5 家庭・地域・企業等と連携した教育活動

福岡市では学校は以上5つのことに力を入れた教育を行っています。「福岡スタンダード」では福岡市のすべての子どもたちに身につけさせたい実践的態度として、「あいさつ」（人とのかかわり）・「掃除」（社会や環境とのかかわり）・「自学」（自分とのかかわり）・「立志」（将来とのかかわり）を示しており、「公教育の福岡モデル」の中心として位置づけています。

これを受けて片江中学校では、「片江スタンダード」として、集団生活の中でみんなで守っていく目標「挨拶 掃除 時間励行」として校門付近の坂道のフェンスに「福岡スタンダード」と並べて掲示しています。これはみなさんが社会人として生きていくときにも大切なことだと考えます。

「あ（明るく）な（仲良く）た（楽しい）の学校づくり」も同じく「片江スタンダード」として掲示されています。これは、一人ひとりが大切にされる人権尊重・生命尊重の心を育てたいと考えます。みんなで、「片江中学校の仲間と出会ってよかった。」「今のクラスでよかった。」と言える「あ・な・たの学校」になるようにしましょう

自然教室

1年生は4月25日（月）から「背振少年自然の家」に2泊3日で自然教室に行ってきました。「守ろう 人権 時間 ルール」をスローガンに実行委員や班長を中心にがんばりました。

まだ、入学して日が浅いこともあり、班や学級という集団の人間関係もあまりできていない中、初日は、集合してもきちんと整列もできず、説明があっても私語が多く、そのたびに先生たちから注意を受けました。

しかし、2日目、最終日となるにつれ、実行委員や班長が機能しだして、自分たちできちんとした行動ができ、無言で行動できるようになりました。家での生活と異なり、181名での集団生活なので洗面や食事なども大変でしたが、順番を守り、他の人のことも考えながら行動できるようになりました。

新緑の背振でのウォークラリーなど自然の中での活動は、子どもたちにとってすばらしい体験になったと思います。野外調理の直前には雨が降り、かまどの煙で涙を流していましたが、班のみんなが協力して、カレーライスがおいしそうに出来上がっていました。途中から雨もやみ、雨上がりの新緑の中で食事ができました。ドッジボールやキャンドルの集いでゲームなどで、学級がまとまってきたように感じました。

テレビもゲームもない自然の中での不自由な生活を通して、少しでも家庭のありがたさを感じてくれたら成功だと思います。



今後のおもな行事予定

5月6日（金）～12日（木）	家庭訪問
5月13日（金）	P T A総会
	部活動保護者会 1年生授業参観・学級懇談会
5月19日（木）	歯科検診
5月23日（月）	教育実習開始
5月26日（木）	眼科検診
6月4日（土）	体育大会練習・準備（簡易給食）
6月5日（日）	体育大会（弁当）
6月6日（月）	振替休日
6月9日（木）	体育大会予備日（弁当）
6月10日（金）	振替休日